

平成 27 年度 社会福祉法人楽水会 事業報告書

1、事業運営等の総括

- ・平成 27 年度の事業運営は、全体的に概ね順調に推移している。
- ・平成 28 年 2 月に釜石市議会市政調査会を市内各介護事業所も参加して地域交流スペースで開催。人材確保・介護報酬改定の影響・職員の住まい等について継続して協議・検討することとした。
- ・平成 28 年 3 月に市内で 2 番目の「子育て応援企業」として認定証の交付が行われた。
- ・働きやすい職場環境づくりや人材確保等で「厚生労働省」の視察や「NHK」の取材が行われた。
- ・岩手県食品衛生協会から HACCP 認定証の交付を受けた。

○ユニットケアの充実

ケアプランに基づき多職種協働による個別ケア・ターミナルケアの実践・口腔ケア・経管栄養・たん吸引等への対応や咀嚼・嚥下機能に配慮した食事の提供・ボランティアの活用や職員指導による作業療法的訓練等を行った。今後も、各職種の連携協力により質の高いケアを目指す。

○行 事

施設行事

4 月：入社式、永年勤続表彰式、観桜会

7 月：夏祭り

9 月：敬老会

ユニット行事

各 月：お誕生会、外出、ドライブ、おやつ作り

季節毎：花見、花火大会、七夕、紅葉狩り、クリスマス会、水木団子作り、豆まき

○慰問・ボランティア

毎月定期：茶道愛好会、お化粧クラブ、習字クラブ、裁縫、車椅子清掃

スポット：民謡クラブ、漁火の会、芸能愛好会、フラダンス、八雲吟詠会、
正福寺幼稚園、小佐野小学校、立教大グリー41、コーラスおたまじゃくし、
シンガポール NPO、いっぽいっぽ岩手、演歌歌手 他

○人材確保

- ・市内介護事業者・行政機関等との協働により地域交流スペースで介護員・看護師の就職相談会を実施した。
- ・釜石市長と市内各介護事業者との介護人材確保に関する懇談会を開催した。
- ・釜石、大槌、山田地区の高校教諭企業訪問受入れた。
- ・管内高校教諭との就職情報交換会や盛岡市で開催された福祉の総合就職フェアに参加した。
- ・新卒者は、地元高校から介護員として 3 名採用した。
中途採用は、看護師 1 名、介護員 2 名、清掃員 2 名。
※退職者は、看護師 2 名、介護員 2 名、清掃員 1 名。

【平成 28 年 3 月末日現在職員数】

役職・資格名称	人数	役職・資格名称	人数
施設長	1	看護職員（正看 2、准看 3）	5
事務長	1	管理栄養士	1
嘱託医	1	機能訓練指導員	1
事務員	2	運転手兼営繕員	1
介護支援専門員	1（兼務）	清掃・洗濯員	5
生活相談員	3	産育休 8（介護 5）	8
介護職員（介護福祉士 49）	58	合計	87 人

○人材の育成

- ・各段階毎や外部講師を招いての研修会の他、研修委員会を中心に内部研修を定期的実施した。
- ・関係機関・団体による各研修会に職員を派遣した。
- ・介護職、看護職に対する自己評価シートによる各マネジャーとの個人面談を実施。
面談結果に基づき職員育成について各マネジャーと施設長等との協議・検討を行った。
事務職、生活相談員、管理栄養士、機能訓練指導員等については施設長が面談を行った。
- ・在籍 3 年未満の若手職員による職務に関する成果と課題発表会を実施した。

○地域貢献と情報公開

- ・市内各特養・養護施設職員によるスポーツ大会を実施した。
- ・小佐野町内会の協力を得て春と秋に消防訓練を実施した。
- ・小佐野町内会の盆踊りに太鼓演者として職員が参加した。
- ・市立図書館との共催で地域交流スペースを会場として「なつかしの釜石上映会」を開催した。
- ・ご家族への広報送付等は予定どおり実施できた。
- ・リニューアルしたホームページは、平成 28 年度開設予定。
- ・福祉サービス第三者評価の受審については検討を継続する。
- ・小佐野小学校児童に放課後の宿題等の学習活動や遊びの場として施設を提供した。

（11 月から翌年 3 月を除く）

- ・平成 28 年 2 月 23 日及び 25 日に小佐野小学校児童の介護体験学習に職員を派遣した。

○インターンシップ受入

- ・平成 27 年 10 月 釜石商工高等学校 2 年生 3 人

○職場体験・施設見学受入

- ・平成 27 年 6 月 小佐野小学校ボランティア委員会 10 人
小佐野小学校 4 年 1 組・2 組
- ・平成 27 年 7 月 岩手女子高等学校看護科 1 名
大平中学校 2 年生 2 名

- ・平成 27 年 8 月 大槌高等学校 3 年生 1 名
釜石商工高等学校 3 年生 4 名
県内大学生 15 名（釜石公共職業安定所等主催企業訪問）
男子大学生（北海道）1 名
女子大学生（岩手県立大）1 名
- ・平成 27 年 9 月 女子大学生（仙台）1 名
女子短大生（一関・青森）各 1 名
小佐野小学校 4 年 1 組・2 組
- ・平成 27 年 10 月 唐丹中学校 1 年生 10 名
釜石商工高等学校 2 年生 3 名
- ・平成 27 年 11 月 釜石高等学校定時制・釜石祥雲支援学校 15 名
釜石商工高等学校 2 年生 20 名（釜石公共職業安定所等主催企業訪問）

「経営基盤の確立」

【指定事業】

事業の種類	名称	定員	開設年月日
介護老人福祉施設	特別養護老人ホームアミーガはまゆり	90 名	平成 15 年 7 月 1 日
短期入所生活介護	アミーガはまゆり	10 名	平成 15 年 7 月 1 日
介護予防短期入所生活介護	指定短期入所生活介護事業所		平成 18 年 4 月 1 日
通所介護	アミーガはまゆり	25 名	平成 15 年 7 月 1 日
介護予防通所介護	デイサービスセンター		平成 18 年 4 月 1 日

【受託事業】

事業の種類	名称	定員	開設年月日
生活支援ハウス	生活支援ハウス アミーガはまゆり	10 名	平成 15 年 7 月 1 日

【入所・利用実績】（平成 28 年 3 月末日現在）

	長期			短期		デイサービス			生活支援ハウス	
	入所 実人数	入院・ 外泊/日	実人数 /日	利用延数	人/日	営業日数	利用延数	人/日	利用延数	人/日
年平均等	32,280	1.2	88.2	3,178	8.7	309	5,596	18.1	3,209	8.8
当初計画			87.0		10.0			18.0		10.0

- ・生活支援ハウスは、入居基準該当者の減少により空室が発生している。
- ・短期及びデイサービスは、小規模多機能居宅介護・小規模デイ等の増加により、利用者確保が難しくなることが予想される。ケアマネジャー・他施設の生活相談員等との連携を継続し利用者確保に努める。

【入所者の年齢構成（長期・短期）】 (以下、各数値は平成 28 年 3 月末日現在)

・長期・短期の入所者・利用者 98 人中、80 歳以上が 88 人と高齢化が進んでいる。

/年齢	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	合 計
男性	1	0	2	3	3	8	6	23
女性	0	0	1	3	13	24	34	75

【入所者の介護度（長期）】

・要介護度 4 及び 5 の長期入所者は、69 人で割合は 77.5%となっている。

	要介護度 1	要介護度 2	要介護度 3	要介護度 4	要介護度 5	計	平均介護度
男性	0	1	5	11	3	20	3.8
女性	1	2	11	20	35	69	4.3
計	1	3	16	31	38	89	4.2

【事業別平均介護度】 長期 4.2、短期 2.4、デイサービス 1.8 【ターミナル実施者数】 18 名

【長期申込者数】 118 名

【職員対応】

- ・職員処遇改善、キャリアパス、教育研修体系、マイナンバー制度等に関する職員説明会を実施。
- ・職員のメンタルヘルス対策、セクハラ・パワハラ防止対策の一環として職員面談期間を活用し関係職員等から聞き取りを行った。
- ・職員の腰痛予防対策の一環として個浴型介護浴槽を新規に 2 台導入した。

【設備の更新】

デイサービスセンターの一部改修、2 階和室の改修、特殊浴室の改修・厨房機器の更新等を行い、利用者・入居者の安全・安心の確保に努めた。

【岩手県沿岸広域振興局実地指導・指導監査】

平成 27 年 6 月 29 日 釜石保健所調理施設等実地調査 指摘事項等無し

平成 27 年度分監査 文書提出による監査

運営規程の字句修正について指導あり 是正改善報告済み

【釜石市指導監査】

平成 27 年 11 月 12 日 工事契約関係の議決について指摘あり 是正改善報告済み

2、施設運営等に関する今後の課題等

- ・事業の安定的・継続的な運営を図るため人材確保対策や関係各機関との連携協力を推進する。
- ・施設の維持補修・改修、設備や機器等の更新を適宜行う。
- ・第 7 期介護保険計画に関する検討を進める。